

PR25539

JBN 外0413 (産業、医薬) (07・3・23)

【産業担当デスク殿】25539

◎眼病、鼻炎薬で戦略的協力 トピジェンとノバガリ

【モントリオール、エブリ22日PRN=共同JBN】呼吸器疾患を専門とする発展段階のバイオ医薬品会社トピジェン (TOPIGEN Pharmaceuticals Inc.) と新しい眼科製品を開発している特殊バイオ医薬品会社のノバガリ・ファーマ (NOVAGALI Pharma S.A.) は22日、戦略的協力、クロスライセンス協定を結んだと発表した。協定によりノバガリはアレルギー性眼病を治療、予防するためのトピジェンの多目標RNA標的プラットフォーム技術に基づく眼科製品を開発、商業化する世界独占ライセンスを与えられる。トピジェンはアレルギー性鼻炎などの呼吸器疾患を治療するRNA標的治療法の処方、開発にノバガリのノバソルブ (NOVASORB:登録商標) 局所搬送技術を使用する独占ライセンスを与えられる。

両社はノバガリのノバソルブ (登録商標) 局所搬送技術に基づく眼病用、鼻炎用のRNA標的製品候補の開発で協力する。両社は鼻の粘膜、目の表面につけるRNA標的治療法の生体粘着性、したがって効果を改善することを目指した処方を開発する。ノバソルブ (登録商標) 技術は角膜、結膜や鼻の粘膜などの表面組織に治療化合物が停留する時間を大幅に改善する搬送システムである。協定によってノバガリはアレルギー性眼病を治療、予防するためのトピジェンの多目標RNA標的プラットフォーム技術に基づく自社の眼病製品の開発が可能になり、トピジェンの方はノバソルブ (登録商標) 技術を使って開発した処方に基づくアレルギー性鼻炎用の自社RNA標的製品の開発が可能になる。協定の金銭的条項は明らかにされていない。

ノバガリのジェローム・マルティネス社長兼最高経営責任者 (CEO) は「トピジェンとの協力はアレルギー性眼病の治療薬開発にとって完全な適合性があると考えている。トピジェンは自社の呼吸器薬開発計画のなかで、ぜんそく患者を対象にした最初の第2相研究で多目標RNA標的技術の正しさを証明することに成功した。ぜんそくの重要な仲介者であることが示されたケモカイン、サイトカインのタイプは、目のアレルギー性炎症疾患の仲介者でもある。わが社のノバソルブ (登録商標) 局所搬送技術と結びつけば、アレルギー性眼病を治療、予防する現在の治療薬に代わるもっとよいものを開発できると信じている。このプロジェクトによって、昨年世界で10億ドルを超えた拡大市場であるアレルギー性眼病の分野におけるわが社のパイプラインの立場は強化されるだろう」とコメントしている。

トピジェンのポール・K・ウォットン社長兼CEOは「わが社の多目標RNA標的技術を眼病用に初めて応用できることに興奮している。ノバガリは重要な専門知識を眼病の治療、薬剤搬送にもたらしている。この協力関係はわが社がほかの治療分野に拡大するのを助け、わが社がノバガリのノバソルブ (登録商標) 局所搬送技術を使ってアレルギー性鼻炎用のリード製品の1つを開発する利益を得ることにもなる。これによってわが社のプラットフォーム技術の利用は大きく拡大し、わが社の製品ポートフォリオは広がることになる」と語った。

▽ノバガリのノバソルブ (登録商標) 技術について

ノバソルブ（登録商標）は陽イオン乳剤搬送システムで角膜、結膜のような組織への薬剤拡散、結合を大幅に改善する。研究によると、ノバソルブ（登録商標）は眼の組織で薬剤の吸収、効果を大幅に改善することが示されている。この技術は鼻での搬送でも簡単に使うことができ、同じ利点がある。

▽トピジェンのRNA標的技術について

RNA標的オリゴヌクレオチドは化学的に変換された分子（ヌクレオチド）で、塩基対合相互作用を通じてメッセンジャーRNA（mRNA）の標的の特定配列と結合し、それによってmRNAで符号化されたタンパク質の発現に干渉するように設計されている。科学者はRNA標的オリゴヌクレオチドを使って、病気にかかわる遺伝子の発現、細胞タンパク質の異常な水準の生成を阻害する新しいより効果的な医薬品を設計する。

▽トピジェンについて

株式非公開の臨床段階のバイオ医薬品会社で、ぜんそく、COPD、アレルギー性鼻炎など呼吸器疾患用の新しいクラスの吸入薬開発に集中している。同社のパイプラインには小分子治療薬とRNA標的治療薬が含まれている。同社には、現在ともに第2相試験が行われているぜんそく治療用吸入剤のTPIASM8と慢性閉塞性肺疾患（COPD）治療用吸入剤TPI1020の2つのリード製品候補がある。病気に侵されている複数の気道受容器官を局所標的とすることによって、同社は多くの呼吸器疾患患者の治療結果を改善できると期待している。この特定のなアプローチは、多くの肺疾患の原因である炎症を阻害するうえで、有望な臨床前、臨床結果を示している。現在のベンチャー出資者はCDPキャピタル・テクノロジー・ベンチャーズ、デジャルダン・ベンチャー・キャピタル、T2C2/BIO、フォン・ド・ソリダリテFTQ、BDCベンチャー・キャピタル、マルティプル・キャピタル社など。同社に関する詳しい情報は [www.topigen.com](http://www.topigen.com) へ。

▽ノバガリ・ファルマについて

眼科専門のバイオ医薬品会社で、眼のあらゆる分野の革新的な製品を開発している。創立は2000年。1. 2. 3. マルチノバ、AGFプライベート・エクイティー、オーリガ・パートナーズ、ベルナル・ショーバン、CDCエンタプライズ・イノベーション、クレディ・アグリコール・プライベート・エクイティー、エドモンド・ド・ロートシルド・インベストメント・パートナーズ、FCJE、シパレックス・ベンチャーズから総額4400万ユーロの資金を調達した。同社に関する詳しい情報は [www.novagali.com](http://www.novagali.com) へ。

(了)

▽問い合わせ先

TOPIGEN:

Corporate Contact:

Paul K. Wotton, Ph.D.

President and Chief Executive Officer

TOPIGEN Pharmaceuticals Inc.

+1-514-868-0404

[paul.wotton@topigen.com](mailto:paul.wotton@topigen.com)

IR/PR Contact:

Dory Valiquette  
Team Leader, Investor Relations  
LaVoie Group  
+978-745-4200 X106  
dvaliquette@lavoiegroup.com

NOVAGALI:

Corporate Contact:

Jerome Martinez, Pharm D, MBA  
President & Chief Executive Officer  
NOVAGALI Pharma SA  
+33-169874020

IR/PR Contact:

Genevieve Garrigos  
Communications Advisor  
NOVAGALI Pharma SA  
+33-169874020  
genevieve.garrigos@novagali.com

Web site: <http://www.topigen.com>  
<http://www.novagali.com>